

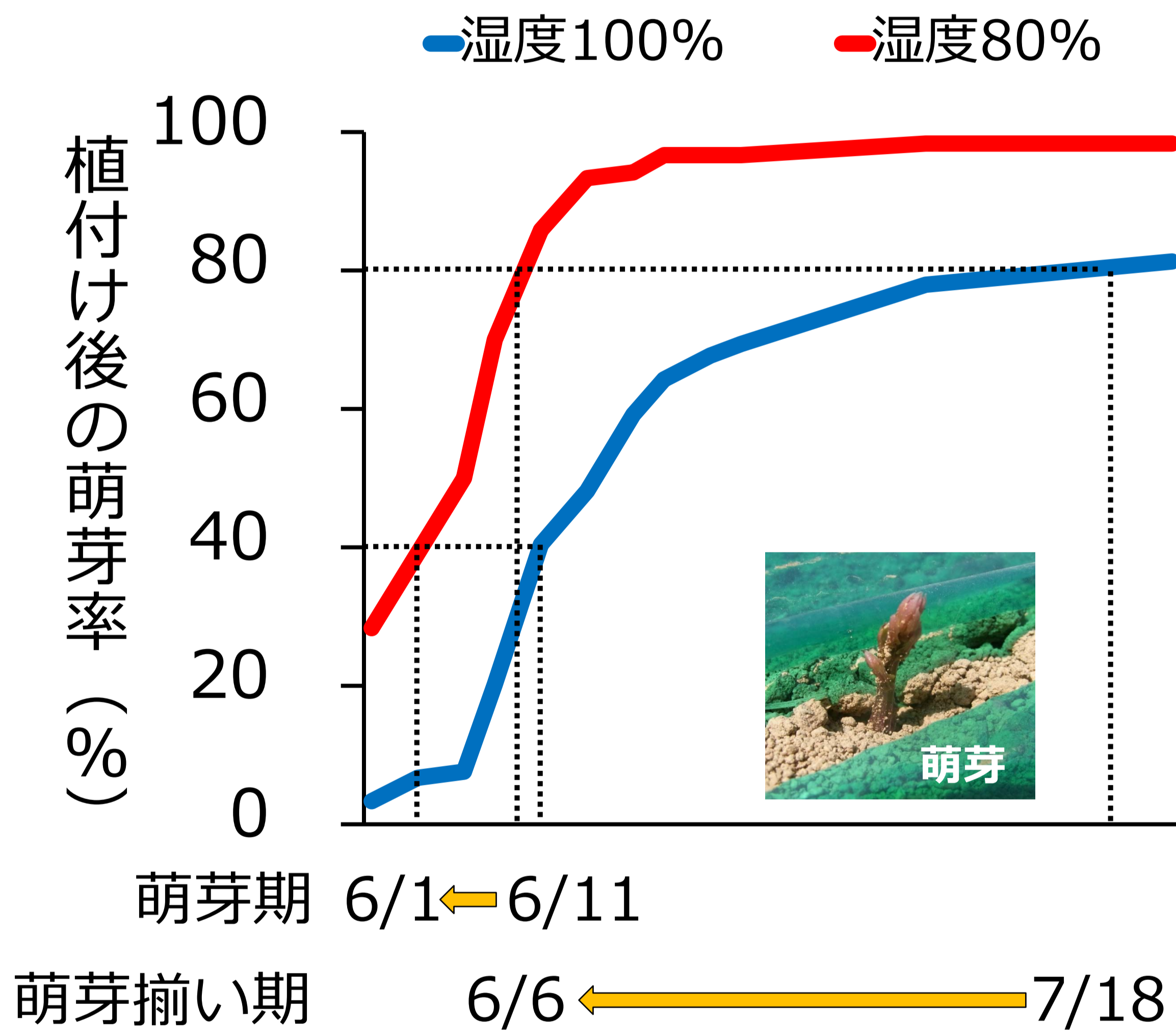
ながいもの安定多収には芽出しの湿度管理が大事！

概要 Abstract

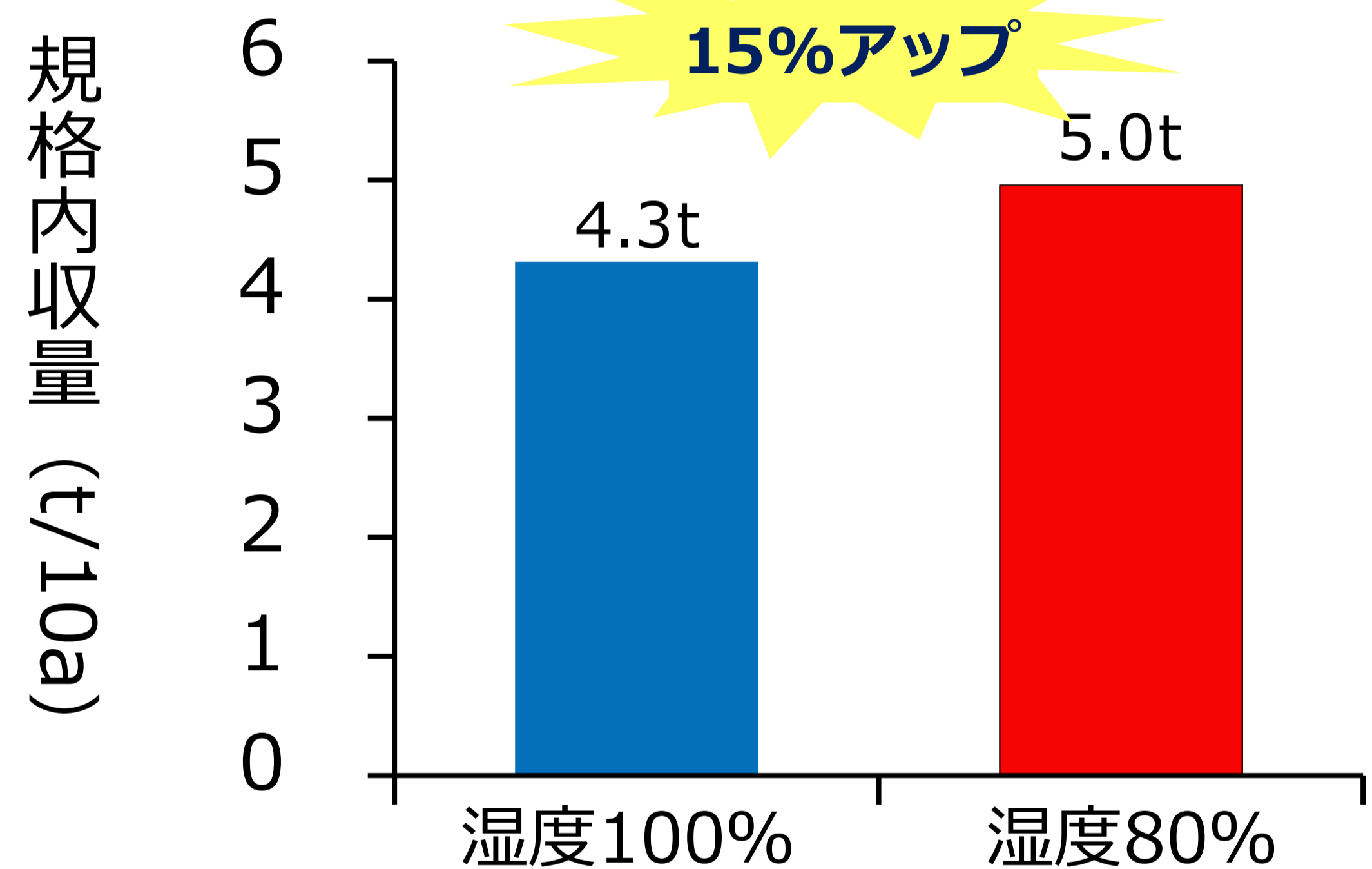
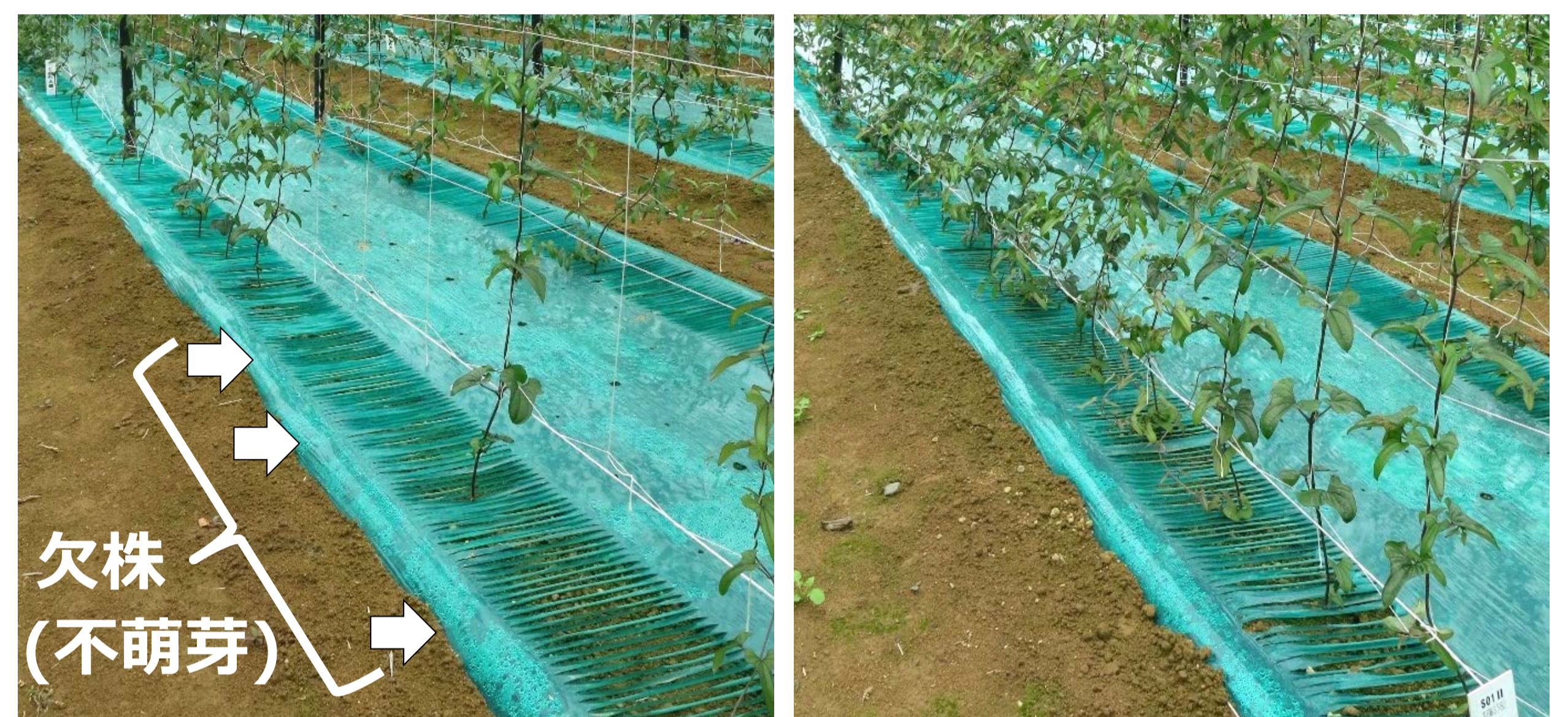
- 催芽（芽出し）の時の湿度を100%から80%に変えると、
- ①植付け後の萌芽が早く、揃いも良くなります。
 - ②大きな減収要因の一つである不萌芽がほぼ無くなり増収します。
 - ③湿度80%は、催芽期間が長くなりますが、作業体系は大きく変わりません。

成果 Results

①萌芽性が格段に向上する



②欠株（不萌芽）が減り、収量が増える



③提案する催芽法と作業体系

催芽法	月	3月		4月		5月			6月		
		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
改善 (湿度80%催芽)		●	■	■	■	■	▲	■	■	■	■
		調製	キリング	催芽	順化	植付	萌芽				
現行 (湿度85~ 99%催芽)	春掘あり	●	■	■	■	■	▲	■	■	■	■
	春掘なし	●	■	■	■	■	▲	■	■	■	■
		調製	キリング	催芽	順化	植付	萌芽				

普及 Dissemination

- 湿度の改善で10a当たり粗収益が約20万円アップします！
- 作業や費用はほぼ変わりません！

連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 地域技術グループ
0155-62-2431
tokachi-agri@hro.or.jp